

水都大阪の新名所

中之島水上公園

土佐堀川と堂島川にはさまれた島、中之島。今、中之島周辺では、水の都大阪の再生に向けた様々な水辺整備事業が、年末から来春の完成に向け進められています。今回の計画は、江戸時代、幕府直轄の公儀橋で「なにわ三大橋」と呼ばれた難波橋、天神橋、天満橋に渡る地域を3つに分けて進められています。歴史・文化・自然と人々が織りなす水都大阪の新名所「中之島水上公園」についてご紹介します。

「人と自然が島に華やく憩いの創出」エリア (難波橋〜天神橋)

難波橋から天神橋の間は、ローズガーデンを主とした華やかなエリアとして整備されます。



水面に映える四季折々の花や豊かな緑と川面を流れる涼風に包まれて、散策やレクリエーション、季節に応じたイベントなど、新たな市民の憩いの場所として愛されるスポットが誕生します。

・中之島

以前親しまれていたバラ園同様に様々なバラが楽しめる施設。今回の計画では「ばら園橋」を含め、バラを立体的に楽しめる工夫も。

・バラのカフェレストラン

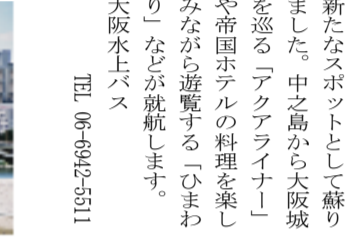
バラや水辺を眺めながら、食事ができるスペースが登場予定です。

・光と風の広場

中之島の新しいシンボルとして噴水等の設置が検討されています。

「中之島の水上風景を愉しむ場の創出」エリア (天神橋〜天満橋)

天神橋から天満橋の間は、新たなスポットとして蘇り対岸の八軒家浜(※)や南天満公園とともに、天満橋を巡る「アクアライナー」に抜ける大川への眺望が愉しめるエリアとして整備されます。水上を行き交う船「ひまわり」などが就航します。



TEL 06-6942-5511

・剣先

大川への展望スポット、中之島の新しいシンボルとして噴水等の設置が検討されています。

※八軒家浜：江戸時代、大坂と京都を結ぶ船の発着場であった八軒家浜が、今春、船着場や遊歩道が整備され

「大阪の文化力が高まる交流と想像」エリア (難波橋以西)

園通り、公会堂前広場などが整備中です。



・中之島公園通り

中之島公会堂から難波橋に抜ける直線道路が、散策、軽飲食、イベントが楽しめる並木路として整備され、シンボルストリートとなるでしょう。

中央公会堂や東洋陶磁美術館、中之島図書館などの文化施設が並ぶエリアには、中之島水上劇場や中之島公

京阪電鉄・中之島線
10月19日(日) 開通



「なにわ橋駅」

主な周辺施設：大阪府立中之島図書館、大阪市中央公会堂、大阪市立東洋陶磁美術館

「大江橋駅」

主な周辺施設：日本銀行大阪支店、大阪水上バス淀屋橋港

「渡辺橋駅」

主な周辺施設：国立国際会議場、大阪市立科学館

「中之島駅」

主な周辺施設：大阪国際会議場、大阪市中央卸売市場

「雨の日も、晴れ男」

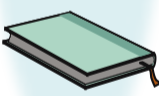
水野 敏也 著

主人公はアレックス。ロンドンに住み、こけしなど日本の雑貨を扱う会社のサラリーマンです。二人の小さな神様から悪戯をされて「不幸」がドツと押し寄せてくる日々を迎えます。朝寝坊をする、当然遅刻。上司から文句を言われる、助けを出す友もいるが別の同僚からは文句を言われる。こんな事はほんの入り口で・・・取り返しが付かない仕事のミス、円形脱毛症、そして会社をクビになる。暴力や詐欺に出会い、家は燃え、ひとりぼっちになって、全てを失う。しかし、アレックスは、どんな困難に出会っても、挫けず窮地を脱出しようと考える。愚痴や言い訳を言わなくなった。最後まで前向きな生き方のアレックスでした。その時・・・奇跡はやはり起きる事なく・・・不幸なままに新しい次の日が始まって来ました。小さな神様の反省には「神は、人を不幸にすることも、幸福にすることも出来ない。ただ出来事を起こすだけ」とあり、全くその通り！と思いました。



文藝春秋

この本と私



「絵のない絵本」

アンデルセン 著

山野辺 五十鈴 訳

「さあ、絵にしてごらん。私の話したことを。そうすれば、ちよつとした絵本ができる」。一人寂しく暮らす絵描きのもとに、夜ごと月が訪い、世界各国で見聞きた話を聞かせてくれます。『絵のない絵本』のタイトルどおり、本当に挿絵一つない本です。月が聞かせてくれる物語を絵にしていくのは、一人暮らしの絵描きと、一緒に月の話を聞く「読む」読者。月の話は、時間軸がばらばらで、何百年も前のヴェスピオ火山の噴火の話があつたかと

も怒る事なく、嘆く事もなく残された妻と子の無事を願うばかり。最後まで前向きな生き方のアレックスでした。その時・・・奇跡はやはり起きる事なく・・・不幸なままに新しい次の日が始まって来ました。小さな神様の反省には「神は、人を不幸にすることも、幸福にすることも出来ない。ただ出来事を起こすだけ」とあり、全くその通り！と思いました。

思うと、昨日見たドイツの話だったり。月にしてみれば、一晩で世界の半分を見通す事が出来るのだから、時間なんて特に問題ではないのだから。ただ、自分の見たまま、聞いたままの出来事を話して聞かせるだけ。そして、物語というよりも散文詩という感じで物語は進んでいきます。今回、特に興味深く思ったのは、文体の方でした。文の並びが「主語＋動詞＋目的語または修飾語」の順で並んでいます。日本語の並び順では、まず見る事がない形。デンマーク語の文章をそのオーダー通りに頭から和訳しているような文章です。



集英社文庫

掲載広告募集中

御堂筋新聞は我が国初のタウン誌として1970年に創刊されました。以来38年の間、御堂筋周辺のビジネス街で働く20代30代の女性をはじめとする、幅広い層の読者の方々に支持されています。読み記事を中心とした編集内容で、楽しく役に立つ情報を発信するタウン誌を目指しています。

- 企業・店舗
 - 新製品の発表
 - イメージアップ広告
 - 新規オープン告知
 - スタッフ紹介
- サークル・個人
 - 会員募集
 - イベントの告知
 - 個人のPR
 - 写真や絵画の作品発表 など

株式会社ファッションビジネス『御堂筋新聞』 TEL 06-6260-0071 FAX 06-6260-0037 E-mail: staff@mido-suji.com

※広告の目的、内容によっては掲載をお断りする場合があります。